

### カタクチイワシ卵の出現状況（燧灘）

前回より大きく増加し、平年値（25.88 個）とほぼ同水準であった。

前年*	平成 18 年 8 月 2 日（7 点の平均）	45.29 個
前回	平成 19 年 8 月 1 日（7 点の平均）	15.86 個
今回	平成 19 年 8 月 15 日（17 点の平均）	26.18 個

---

### カタクチイワシ稚仔魚の出現状況（燧灘）

前回より大きく増加し、平年値（11.57 尾）とほぼ同水準であった。

前年*	平成 18 年 8 月 2 日（7 点の平均）	14.71 尾
前回	平成 19 年 8 月 1 日（7 点の平均）	3.71 尾
今回	平成 19 年 8 月 15 日（17 点の平均）	12.53 尾

---

\*昨年 8 月下旬の調査を行わなかったため(天候不良), 昨年 8 月上旬のデータを表示。

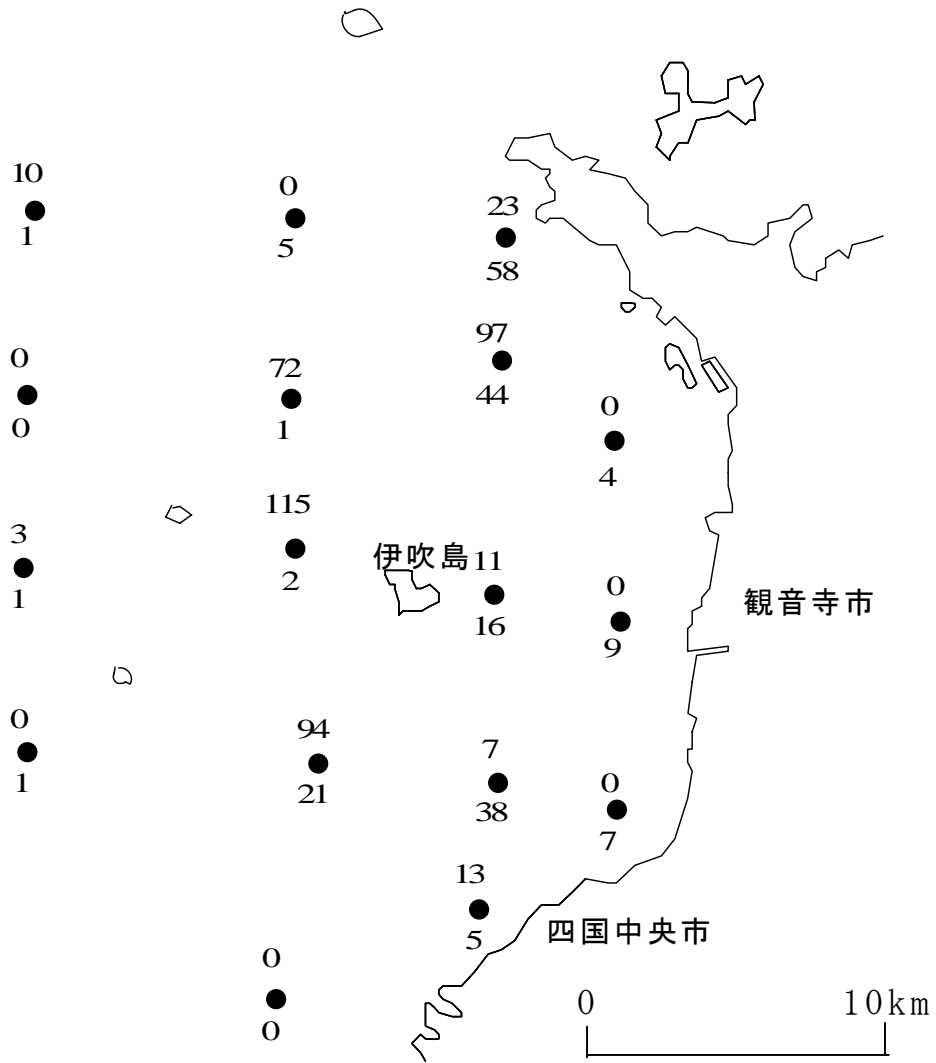
### プランクトン調査（燧灘）

餌として価値のある枝角類（ミジンコ類）が優占していた。

### 魚探調査（燧灘）

円上島北西部（航路付近）の海域で魚群が確認された。

カタクチイワシ卵稚仔採集状況 (815)



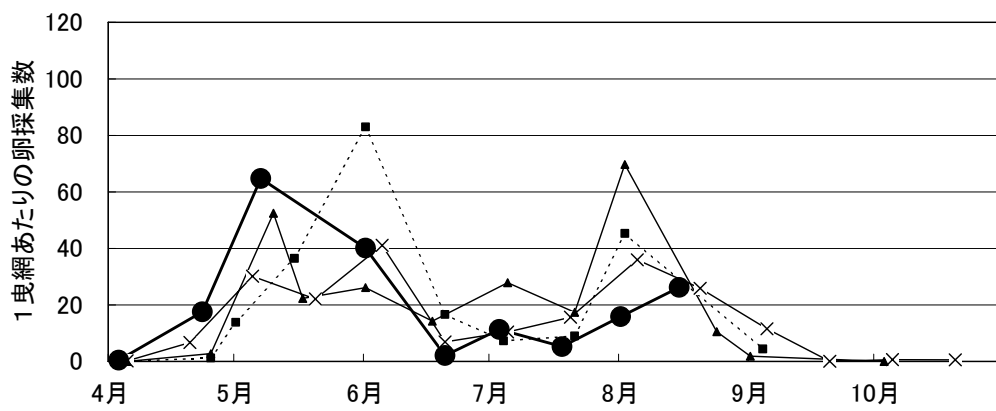
凡例

●の上側はカタクチ卵数  
 下側はカタクチ稚仔数を示す。いずれも1曳網当りの数

1 1 ← 卵数  
 ●  
 0 ← 稚仔数

S T	曳網水深 (m)	カクチ卵	マイワシ卵	その他卵	カクチ稚仔	マイワシ稚仔	その他 稚仔
H1	29.4	23	0	17	58	0	20
H2	28.4	97	0	6	44	0	8
S1	28.9	0	0	0	4	0	3
S2	28.8	0	0	2	9	0	16
H3	29.3	11	0	5	16	0	5
S3	28.5	0	0	4	7	0	12
H4	28.1	7	0	4	38	0	2
H5	28.8	13	0	5	5	0	3
S10	28.1	0	0	3	0	0	11
H6	28.9	94	0	0	21	0	1
H7	30.1	115	0	0	2	0	0
S7	28.4	72	0	38	1	0	8
S11	28.6	0	0	9	5	0	4
S12	28.1	10	0	7	1	0	2
S13	28.9	0	0	3	0	0	7
S14	28.8	3	0	2	1	0	8
S15	29.1	0	0	7	1	0	7
合計		445	0	112	213	0	117
7点平均	29.0	51.43	0.00	5.29	26.29	0.00	5.57
平均	28.8	26.18	0.00	6.59	12.53	0.00	6.88

※7点平均は浅海定線調査を行っているH1～H7の平均



燧灘におけるカタクチイワシの卵出現状況

